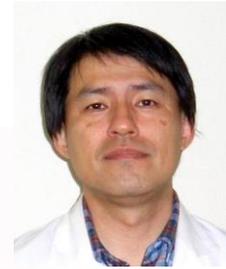


血液内科

竹内 昇吾 (たけうち しょうご)
血液内科 主任部長



いつも大変お世話になっております。血液内科の竹内と申します。本年度より高塚祥芝先生から主任部長を引き継がせて頂いております。以前は今村総合病院に 25 年近く勤務しておりましたが、早いもので当院へ赴任して 7 年目に入ろうとしております。当院の体制はこれまでと著変なく、常勤医師 2 名（小生、高塚祥芝先生）、非常勤医師 3 名（徳永真弓先生、松元正先生、有村光生先生）で診療しております。コロナ禍の影響もあり外来患者数はやや減少しておりますが、先生方からの多くの患者様を紹介頂いたことで新規入院患者数は減少せず維持をできており、感謝申し上げます。

現在当院では主に造血幹細胞移植の適応とならない高齢の造血器腫瘍患者様や、非腫瘍性の血液疾患患者様の診療を行っております。最近はお元気で、認知機能の低下のない高齢の患者様（最近言われるようになった fit の患者様）も多くなっており、抗体療法など治療が進歩したこともあり従来では治療が難しかった 85 歳以上の超高齢者でも治療が可能になってきております。高齢化に伴い最近増えている疾患の代表は MDS（骨髄異形成症候群）です。白血球減少、貧血、血小板減少で紹介頂くことが多い疾患です。最近では白血病に近い高リスク MDS、MDS から進行した AML（急性骨髄性白血病）も増えてきております。MDS から進行した AML は白血球が減ることもあります。以前はいずれも抗がん剤治療の有効性が低く予後は極めて不良でしたので、輸血など対症療法でみることも多かったのですが、現在は高リスク MDS に対しアザシチジン注で造血回復がみられる患者様が 30～40%見られております。効果持続は患者様によって異なりますが、半年から 2 年程度です。いずれ効果は見られなくなるため造血幹細胞移植適応年齢であれば移植を行うことが多いのですが、移植非適応の患者様の場合は輸血などから離脱する時間が得られることで少しでも有意義な時間が過ごせるようにと考えて治療を行っております。AML の場合は MDS で使用したアザシチジンにベネトクラックス内服が加わります。こちらも完全寛解が 30%程度見られます。75 才以上の高齢者に対する抗がん剤治療の寛解率が以前は 10%未滿であったことを考えますと、医療の進歩を実感させられます。

高齢であっても病気がある程度理解でき、自立されている患者様であれば、現在の治療は十分行うことが可能と考えておりますので、血球減少がみられる患者様で血液疾患の可能性が疑われる際は、年齢に関わらずご相談いただければと思います。今後ともよろしくお願い致します。

いづろ今村病院 レスパイト入院について

レスパイト入院とは

レスパイト入院とは、一時的に在宅介護が困難な場合に短期入院を受け入れる制度です。介護しているご家族の休息や、ご家族自身の急な病気・怪我、冠婚葬祭などで一時的に在宅介護が困難になる場合に、当院は患者様の入院を受け入れることで介護者を支援します。

入院の対象

- ・患者様やご家族の休息目的
- ・介護者の事情（急な入院や出張、旅行、冠婚葬祭等）により一時的に自宅での療養継続が困難となった場合

当院レスパイト入院の留意点

- ・入院期間は数日から1ヶ月程度が目安となります
- ・治療目的の入院ではないため、入院中に治療や検査等は基本的に行いません
- ・病状が急変した場合は、他の急性期病院に搬送することがあります
- ・認知症等により夜間不穏、徘徊等で転倒の危険が高く、ご本人の安全管理ができなくなった際は入院継続が困難になる場合があります
- ・地域包括ケア病棟の入院は合計日数が60日まで、その後3ヶ月間は利用できなくなります

<利用例>

4月	5月	6月	7月	8月	9~11月	12月
14日間 入院	14日間 入院	14日間 入院	14日間 入院	4日間 入院	※3ヶ月は 利用不可	利用再開

← 合計日数 60日 →

(例：1ヶ月毎に14日間利用すると、4ヶ月目で56日となり、残り4日間となります。残りの4日を利用した後は3ヶ月間利用が出来なくなります。※がんや特定疾病の患者様は1ヶ月以上の期間が空いていれば、前回の入院期間はリセットされます。)

費用について

通常の入院と同じく医療保険での請求となります。食事代や個室利用の場合の個室料金は自己負担となります。

相談から入院までの流れ

1. ご相談は地域連携室までご連絡ください
2. お申し込みの際は診療情報提供書と予約申込書を地域連携室へFAXでお送りください
3. 院内で検討を行い、できる限り迅速に回答いたします
4. 入院日が決定次第、ご自宅へ入院案内の郵送または電話での説明を行います
5. 入院日当日は受付後、地域包括ケア病棟へ入院となります

お問い合わせ先

公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院 地域連携室

直通 TEL：099-226-2180 直通 FAX：099-226-2181

問い合わせ対応日時： 平日 8:30~17:30 土曜 8:30~12:30 ※日祝・年末年始を除く

■ 発行者 ■  公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 地域連携室

いづろ今村病院 TEL099-226-2600(代表) いづろ今村病院・地域連携室 TEL099-226-2180 FAX099-226-2181

いづろ今村病院夜間かかりつけ救急 TEL099-226-2600 今村総合病院 救急・総合内科 TEL099-251-2221(代表)